

- 永井博士の人生について色々を知ることができました。お話をきく中で、永井博士は「前向きな人」という言葉がくり返されていたのが印象的でした。どんな逆境においても、前を見続けることの大切さを感じることができました。
- 永井隆の生涯を順を追いながら詳しく知ることができました。貴重な機会にプレゼンテーションでわかりやすかったです。
- 自分自身の平和について考えていきたいです。本日の講演を参考にし、如己愛人ということばが実践できるように私もこれから過ごしていきたいです。
- 「平和って何なんだろう」と、改めて、じっくり考えなければと夏休みの宿題ができました。恐らく、自分の中で、ずっと問い続けていくものなのだと思います。きっとそれが、自分自身が、今後生きていく中でのパワーにもなると感じます。青空文庫、山内清海さん、モニカ・ブラウさんの書籍も是非よませていただきたくなりました。
- 永井博士自身も、余命宣告や、被爆をされ身体も心もつらかったと思いますが、それでも、平和の為に、誰かの為に最後まで活動されて一生けん命に生きて...なかなか出来る事じゃないです。感動しました。私も、今出来る事を、自分を愛するように周りの人を愛していきたいと思いました。
- 昨年の長崎人権学の中で、初めて永井館長さんのお話を伺うことができ、今回もぜひと、楽しみに参加させていただきました。館長さんの温かな語り口から、永井博士の人となりを感じることができました。長崎に生まれ、被爆2世として生きる私です。これから考え続け、できることを模索していきたいと思います。
- 永井隆さんの生涯を知り、長崎でのできごとをたくさんの写真と映像で知れて勉強になりました。平和について考え、知り、伝えていくことの大切さをあらためて思いました。身近な平和、如己愛人、忘れません。
- 「永井隆」「如己堂」「医師」というキーワードは知っていましたが、詳しい業績や生い立ちを知らなかったなので、お話を聞けて良かったです。娘から誘われて参加しました。今回の話を息子にも聞いてほしかったと思います。私から話をしようと思いました。
- 本で学ぶ事ができない貴重なお話をきけて良かったです。あらためて「平和」とは何かを考えるきっかけにもなりました。

- 画像や動画を交えて、分かりやすく説明していただきました。
- 今まで聞いた事ない話や映像を見れて良かったです。
- これまで永井博士について調べたことがありましたが、調べられていないこともわかりやすく教えていただき勉強になりました。
- 初めて見る映像が多く、大変、心に残りました。永井博士が長崎の荒野に立たれるシーンや、病床で執筆活動をされるシーンなど「大変な思いをして、生きてこられたことがとてもよくわかりました。長崎で生まれた者として博士の平和への思いを受け継いでいきたいという気持ちになりました。学校の平和集会にも生かしたいと思います。
- 永井博士のことについて、よく知ることができました。職場で、多くの仲間に伝えていきたいと思います。
- 永井隆博士が生活をとおして、平和を願い行動をしてこられたことに感動しています。永井氏の残してくれた作品をまた改めて読み直し平和な世界になるよう行動にうつしていきたいと思います。
- 戦後 81 年、今日まで日本は戦争がなかった。「隣人愛」自分を愛するように、自分のとなり（身近な）人のことも愛せよという考えを頭において、私も子どもに伝えていきたいと思いました。（平和な未来のために）
- 浦上川、永井図書館、平和公園などは子供のころから身近な場所で、永井博士も身近な存在でした。先日の NHK の放送で長崎の鐘の検閲、弔辞をとり上げていました。興味深く視聴しました。そして、今日の講話、改めて人間永井隆のお話を聞いた貴重な時間でした。
- 去年の原爆の日、双頭の鐘を雨あがりに記念館の近くで聞き記念館に久しぶりに入館して帰宅しました。8 月 9 日の慰霊祭出席の歴代の首相にも、永井記念館を訪れてほしいと感じました。
- 核兵器の脅威や紛争が絶えない今こそ、私たちが平和の大切さを伝えていかなければならないと思います。過去の悲劇を風化させず、二度と被爆者を出さない平和な世界を、次の世代へ途切れなくつないでいくために、これからも学び、伝えていきたいと思います。
- 長崎を平和の桜でいっぱいにしていただきたい、多くの人に活用していただきたいです。

- 永井博士の思想や生き方に触れることができ、愛の深さを感じた。「平和」は特別なことでなく、自ら考え、行動することの大切さを感じました。必ず自分にできることがあるはずです。考える機会を与えていただけて良かったです。
- 永井隆さんという方について、改めて学ぶ事ができました。どん底に大地ありという言葉も心に残りました。私自身は、体験していない戦争ですが平和の大切さを、伝え続けていきたいと思います。又、家族、友人関わる仲間達を大切にします。如己愛人、というメッセージを受け取りました。先ずは、一番身近な家族から、大切にします。
- 永井博士の思い、願いがよく分かりました。映像資料も豊富にあり、とても分かりやすかったです。徳三郎さんの平和の思いも、しっかりと伝わってきました。今後も、市民の方や学校で平和の大切さを伝えていただきたいと思います。
- 私自身、長崎市内で育ってきたので、平和学習をたくさんしてきたものの、まだまだ知らなかったことがあり、改めて学びとなりました。博士が長崎の人々のためにしてくださったこと、想いを知ると、改めて平和な世の中にしていかなくてはならないと強く思いました。未来をつくっていく子どもたちに、戦争の恐ろしさ、悲惨さ、また、苦しい思いをしながらも長崎の人々のために一生懸命に働いた人がいることを、伝えていきたいと思います。そして、「平和」とは？について子どもたちと共に考え、戦争のない世の中、平和をこれからも願っていききたいと思います。
- 今回は、永井博士の生涯について、あらゆる点から、特に人としての博士を知ることができ、とても勉強になりました。この夏、永井博士の本を読み、改めて、博士の偉大さを実感しています。学びを深め、永井博士の想いを継いでいきたいです。
- 平和を希求する永井博士の生涯と原爆に対する考えがよくわかりました。何事にも「前向き」な基本姿勢が博士の原動力だったのだと気づきました。徳三郎館長のたんたんとした語り口が、講演内容を冷静に聴くことができました。核兵器のない平和な世界の実現を願います。そのためにどうしたらいいかそれが、人類に対する大きな課題です。「如己愛人」の精神が今更ながらに思い起こされます。